

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年12月28日

計画の名称	沼津市公共下水道整備事業重点計画												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	沼津市												
計画の目標	沼津市では、第五次沼津市総合計画において、環境と共生する持続可能なまちづくりを進めるため、「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」の実現に取り組んでいくこととしている。 このうち、「良質な水資源の確保と水質保全」の取組として、排水の適正処理の推進のため、計画的かつ効率的に下水道を整備する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,420	A	3,420	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標) 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	下水道処理人口普及率を63.0%(R5当初)から68.0%(R9末)へ向上。 下水道処理人口普及率(%) 下水道処理人口(人)/沼津市の人口(人)×100	63%	66%	68%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	新設	西部処理区 汚水管渠整備(未普及解消)	汚水管 A=29ha	沼津市						1,559		-
	A07-002	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠(汚水)	新設	狩野川左岸処理区 汚水管渠整備(未普及解消)	汚水管 A=31ha	沼津市						1,861		-
											小計						3,420		
											合計						3,420		

事前評価チェックシート

計画の名称： 沼津市公共下水道整備事業重点計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

